

長野農業農村支援センターだより

令和8年1号

「トルコギキョウセミナー」を開催しました



4月22日（水）、長野県農業大学校の圃場において「第4回トルコギキョウセミナー」を開催しました。本セミナーは、トルコギキョウの魅力を知っていただき、新規栽培者の確保を図ることを目的に実施しているものです。作業を実際に体験しながら栽培技術を学び、受講後に円滑に現地での栽培へ移行できることを目指しています。

トルコギキョウの栽培・出荷を希望する16人の受講生が参加しています。

J Aとの共催により、3月から第1回セミナーを開催し、圃場の定植準備作業を行いました。4月には苗の定植や除草作業を実施し、8月まで月2回程度の開催を予定しています。受講生の皆さんは、各回とも熱心に作業に取り組んでいます。

支援センターでは、今後も引き続きトルコギキョウ栽培者の確保に向けた取り組みを進めてまいります。

発行 長野農業農村支援センター 技術経営普及課

〒380-0836 長野市大字南長野南県町 686-1

電話 026-234-9536 FAX 026-235-8393

Eメール nagano-aec@pref.nagano.lg.jp

URL <http://www.pref.nagano.lg.jp/nagachi/nosei-aec/index.html>

着任のご挨拶

長野農業農村支援センター所長

篠原 亘

この4月に長野農業農村支援センター所長として着任しました、篠原 亘と申します。本年度は私を含め42名の職員で、長野地域および各市町村の農業・農村の維持発展と、農業者一人ひとりの経営発展に向けて、力を合わせて取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

本年度から、より効率的で効果的な現地活動を行うため、普及活動体制を見直しました。長野、須高、千曲坂城の3地区ごとのチーム制とし、市町村やJAの皆様との連携をこれまで以上に強め、機動的な活動により、地域と農業者の皆様にも頼られる組織を目指します。

また、先端技術や高度な専門技術についても、職員の技術力向上に継続して取り組み、現地からの要望に的確に応えられる体制を維持しております。

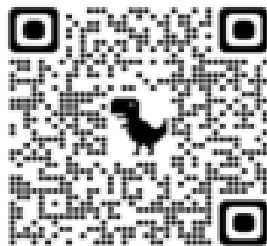
さて、現在、「第4期長野県食と農業農村振興計画」に基づき、当地域では「人と人がつながり、力強く未来へ躍進する長野農業」を目標に、多様な担い手の確保・育成、果樹を核とした産地づくり、特色ある農畜産物の安定生産、農村づくりや食育など幅広い課題に取り組んでいます。

もちろん、これらの主役は、農業者の皆様、そして地域の住民・団体の皆様です。当センターも、市町村やJAと連携しながら、情熱を持って支援し目標の実現に向けて活動を展開してまいります。

そうした中で「普及だより」では、管内の生育状況や技術情報、各地の話題、新規就農者の紹介などお役に立てる情報を、印刷物やメール、SNSを通じてタイムリーにお届けしてまいります。1年間、楽しみされ、またご活用いただければ幸いです。

目 次

○農作物の生育状況	2
○特集 1 「リンゴ腐らん病削り取り」	4
特集 2 「農作業安全について」	5
○新規就農者の紹介	7
○地域のできごと	8
○長野農業農村支援センターの業務分担表	10
○情報提供	

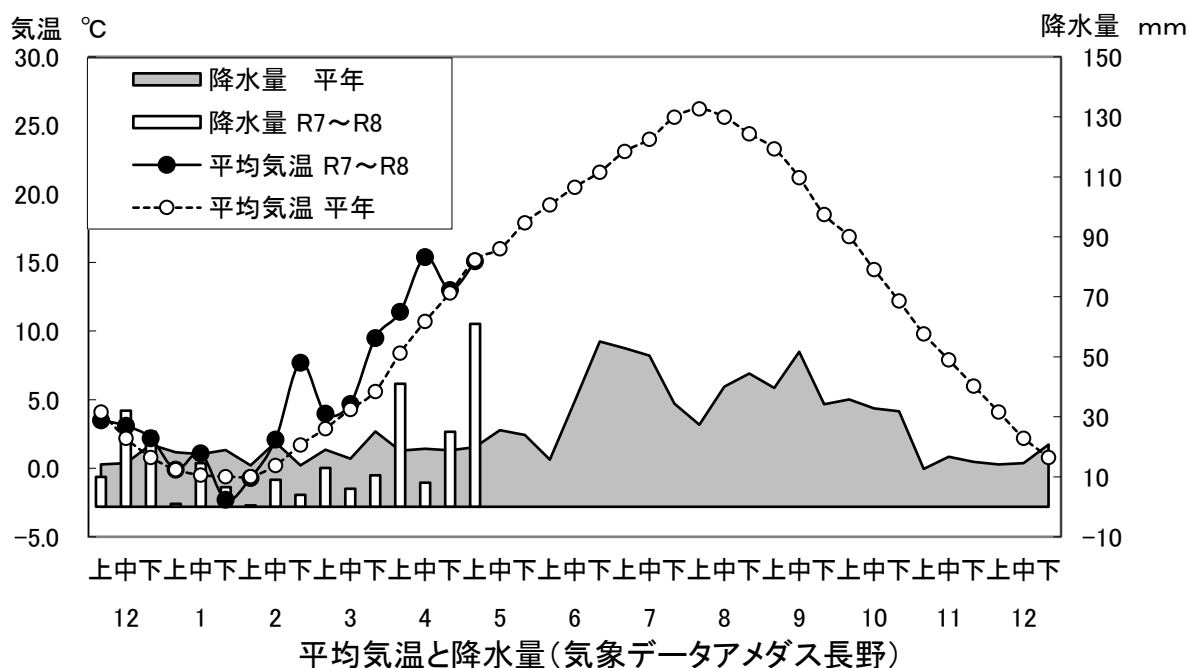


当センターHP

農作物の生育状況（5月15日現在）について

令和8年5月15日
長野農業農村支援センター

【気象データ】



【作物】

(1) 麦類

千曲市の11月上旬は種の「シュンライ」は4月17日頃に、10月下旬は種の「ユメセイキ」は4月22日頃に出穂期となった。大きな湿害・凍霜害等は見られず、概ね生育は良好。長野市の「しゅんよう」・「ハナチカラ」は、4月25～5月1日頃に出穂期となった。高温に伴い、出穂期・開花期ともに進んでおり、赤かび病の開花期防除は昨年より早まっている。

(2) 水稲

例年と同様に4月初旬から播種作業が始まり、標準植え地帯では5月初時点で播種はほぼ完了、今後は晩植地帯の播種作業が5月中旬まで進む。現在のところ高温によるムレ苗や焼けは散見されるもののおおむね生育は順調。

【果樹】

りんご「ふじ」の落花は長野市共和地区で4月27日と平年より3日早く、昨年より5日早い。また飯綱町で5月2日と平年より7日早く、昨年より10日早くなった。なし「南水」の落花は長野市真島で4月17日と平年より14日早く、昨年より9日早い。もも「川中島白桃」の落花は長野市川中島で4月20日と平年・昨年より7日早い。ぶどう無核巨峰の展葉は長野市松代で4月17日と平年より4日早く、昨年より1日早い。大きな遅霜被害の発生は無く全体的に結実良好となっているが5月1日の降雹により、高山村～須坂市で被害があった。

地域的に核果類で開花期間中の低温や強風の影響による結実不良、発芽後の発芽不良発生が見られる。なし、りんご、ぶどうでも地域的に発芽不良が確認されている。

【野菜】

(1) アスパラガス

平坦部及び準高冷地帯の半促成作型の施設、露地作型は収穫中である。年生の若い株や前年の病害の発生により養分の蓄積が少ないほ場から立茎を開始している。

(2) 果菜類

半促成加温作型のキュウリの生育は収穫中であり、無加温の施設も4月下旬から定植が始まる。半促成加温作型トマトの生育は、ほぼ順調であり、収穫中である。病虫害の発生は見られていない。

ピーマンの定植が各地で始まっている。

(3) 根菜類

長芋について春定植最盛期。天候に恵まれ作業は順調に進んでいる。

【花き】

コギクについては、暖冬で積雪が少なかったため、一部ほ場では茎葉の伸びがよくない状態のものも見られる。シャクヤクについては、5月上旬より出荷が始まっている。気温が高く推移しているため生育が進んでいる。

【畜産】

永年性牧草は飯綱町普光寺で出穂始まり、草丈は40～50cmくらい、飯綱町川上で出穂始まり、草丈は40～50cmくらいで生育は進んでいる。また、信濃町大井で伸長期、草丈は30～50cmくらいで生育は平年並みとなっている。

信濃町野尻で4月下旬にエンバクが播種され、出芽のそろいは良好で、草丈は10cm程度となっている。

リンゴ腐らん病の削り取り方について

りんご園で腐らん病の発生が目立っています。

4～5月は腐らん病がよくわかる時期なので、以下の手順により病斑の処理を行いましょう。

手順	具体的な方法
1	腐らん病手術ナイフのカギの部分 (①) を使用して表皮を薄く剥ぎ、病変部の範囲を確認する
2	病変周辺+健全部 1 cm程度 (線で囲ったあたり) にナイフ部 (②) を幹に向かって垂直に突き立て、切れ込みを一周入れる
3	切れ込みからナイフ部を樹皮と木質部の間に滑り込ませ、切り込みに沿って病変部を剥ぎ取る
4	剥ぎ取り後、塗布剤を塗布する。



胴腐らんを発見



手順 1



手順 2



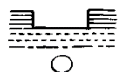
腐らん病手術ナイフ



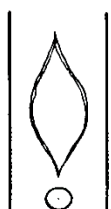
手順 3 (右の写真は剥ぎ取った状態)



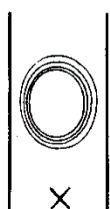
手順 4



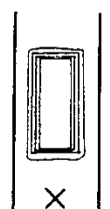
① 断面は垂直に切りこむこと



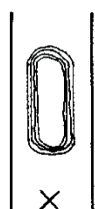
紡ずい形



だ円



長方形



端円形

削り取り方法 (果樹指導指針より)



参考 腐らん病削り取り動画

熱中症、農作業事故に気を付けましょう！

➤ 昨年、長野地域で農作業事故が多発しました。

昨年、長野地域では死亡事故6件、重傷事故5件発生しています。全県の死亡事故は9件ですので、実に2/3が当管内で発生したことになります。

死亡事故は、野焼き、熱中症、スピードスプレーヤー等、重傷事故は、運搬車、スピードスプレーヤー、裁断機等が原因でした。

長野地域では、毎年スピードスプレーヤーによる死亡事故が発生しているため、特に、事故に気を付けましょう。

➤ スピードスプレーヤーを使用する際に気を付けてほしいこと

スピードスプレーヤーを使用する際に気を付けてほしいことをまとめました。

スピードスプレーヤーで気を付けること

- 防除前に経路をあらかじめ確認し、できるだけ安全なルートを設定する
- 低い枝などの障害物には目印をつける
- 散布時は後方や側方の散布状況に気を取られずに、前方に注意する
- カーブの手前では十分に減速する

昨年、発生したスピードスプレーヤーによる死亡事故は、移動中の転落、防除中に前方の枝に挟まるといったものでした。

このほかの機械でも転落・転倒、挟まれ、巻き込まれ等の事故が発生しています。機械を使う前の点検、一人での作業を避ける等事故に遭わない対策をお願いします。

長野県では農作業事故啓発の動画を作成しているのでぜひご覧ください！

(2次元コードはこちら→)

➤ 熱中症に気を付けましょう☀

暑い時期になっています。暑さを避けて熱中症対策をしながら農作業をしましょう。

熱中症対策のポイント

- 暑い時間の作業はできるだけ避ける
- のどが渇く前に水分と塩分をとる
- こまめな休憩
- 一人での作業は避ける

特に、高齢者の皆さんはのどの渇きを感じにくい等熱中症のリスクが高いため、こまめな水分補給をお願いします。

➤ 労働者の熱中症対応について

令和7年の6月から労働者を雇用する全ての事業者に対して労働者への熱中症対策を義務付ける労働安全衛生規則が改定されました。労働者が見える位置に「対応フローや連絡先を書いた張り紙を貼る」等、熱中症の際にどう対応するかを労働者に周知しましょう。

フロー図の見本は農林水産省のHPからダウンロードできます。

(次のページにつけてあります)

➤ 農作業安全啓発動画



【トラクター編】



【乗用草刈機編】



【高所作業機編】



【スピードスプレーヤー編】

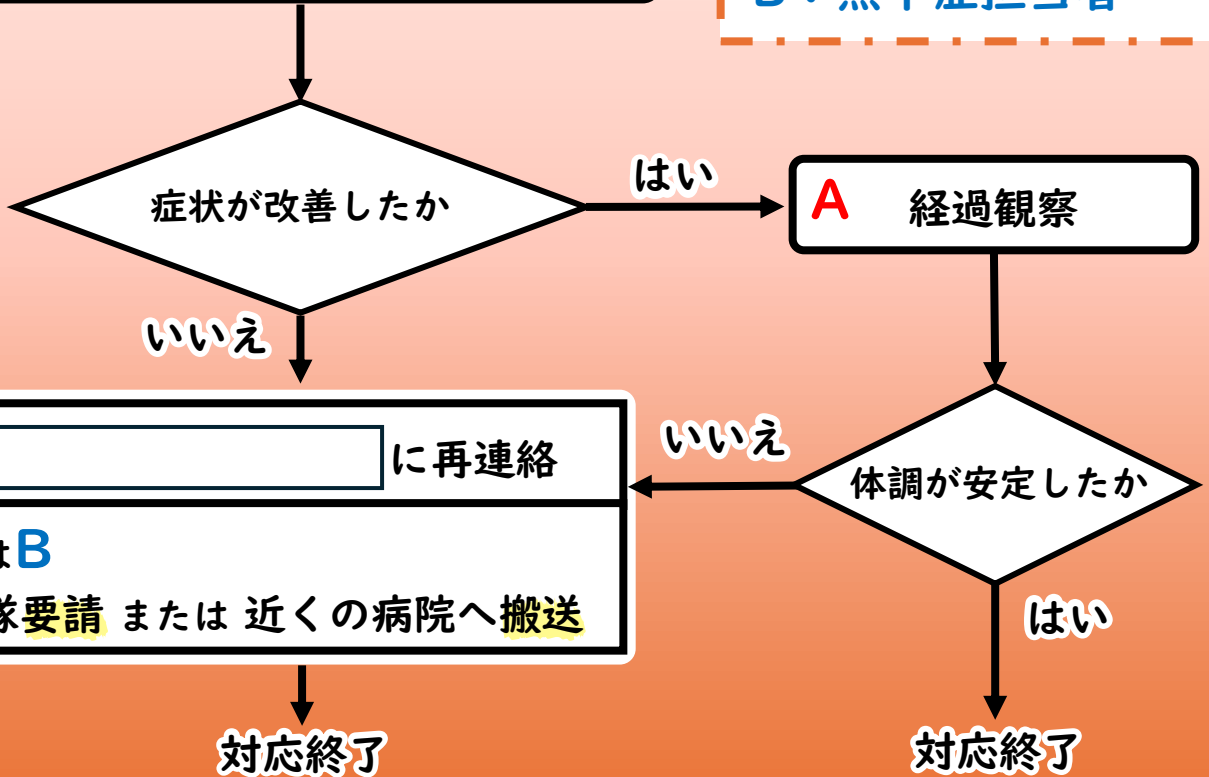


【刈払機編】

「熱中症」対応フロー

- A ・ 熱中症発症または熱中症患者発見
- ・ B に連絡
- ・ 作業を中断して応急処置

A：あなた
(発症者・発見者)
B：熱中症担当者



熱中症のおそれがある時の連絡体制

① 熱中症担当者

担当者：

TEL：

- ・ 上記連絡先に連絡がつかない時は
応急処置や救急隊要請を優先し、
事後に連絡すること。

② 救急・近隣病院

救急隊要請

119番!

近くの病院：

住所：

TEL：

仕事が終わった後でも、体調が悪化したと感じたら、すぐに救急隊を呼んでください！
(熱中症は回復後に症状が悪化するケースがあります！)

長野地域管内の
新規就農者紹介!!

長野市

とどろき
轟

やすゆき
康之さん



自己紹介

- ・就農2年目。41歳。
- ・現在、ぶどう(シャインマスカット、ナガノパール、クイーンルージュ®、巨峰(有核・無核))約1ha、りんご(中生種～ふじ、7品種)約1haで営農しています!

➤ 就農のきっかけ

元々祖父母はりんごを中心とした果樹農家でしたが、両親が果樹から日頃食べる野菜を中心に栽培しており、常に農業は身近にありました。いずれ農業に携わろうと考えており、会社勤めをしている際に農業のお手伝いをしていた方の元でぶどうの研修ができることとなり、就農がより現実的になってきました。

➤ 里親研修制度の活用～就農

元々お世話になっていた方が里親となつていただいたこともあり、2年間の研修期間は想像より自由に学ぶことができました。栽培技術はもちろんのこと、地域の情報やつながり、また、(一財)長野県果樹研究会にも入会したことで、地域外の果樹農業者とのつながりもできました。就農前からこれほど多くのつながりができたことは、現在にも生きてきていると感じています。また、就農地では高齢化などを理由に離農する方も多く、就農タイミングで縁あって基盤整備した園地も管理できることになり、身が引き締まる思いです!

➤ 力を入れていること

就農して1年目から、ノウフク連携を地元の福祉事業者と行いました。今年も継続して実施していく予定です!また、地元の業者との連携を通じて売り先の拡大も予定しています。

求められる品質の果実を出荷できるように管理を頑張っていきたいです!

➤ これからの目標 —さらに規模拡大、そして雇用も!—

地域の農地もどんどん空いてくる状況なので、今後も農地を集めてさらなる規模拡大を目指していきたいです!また、面積が増えるとさすがに適期作業ができなくなるので、将来的には雇用も視野にいれながら経営を進めていきたいです。

地域のできごと

グリーンセミナー開講式・第1回講座を開催しました



4月30日に「グリーンセミナー開講式・第1回講座」を開催しました。

このセミナーは、ぶどう栽培の基本的な技術や知識を学んでいただくことを目的に、長野農業農村支援センターとJAグリーン長野の共催で毎年開催しており、今年度は43名の申し込みがありました。開講式では、JAグリーン長野営農販売部長と支援センター所長から、ぶどう栽培について学ぶほか、横のつながりを作ってほしいと激励の言葉がありました。その後、実際の圃場で第1回講座を行い、芽かきと新梢管理について学びました。

(長野市南部担当 黒柳)

「アグリセミナー りんご講座」の開講式・第1回講座を開催しました



4月28日にながの農業協同組合 ながのフルーツセンター会議室において「アグリセミナー りんご講座」を開催しました。この講座は、主にJAながの管内で新たにりんご栽培をめざされる方を対象として、JAながのと長野農業農村支援センターが平成22年から毎年実施しているものです。今年度は13名の受講申し込みがありました。

開講に当たって、当支援センターの所長から「長野県は日本一のくだもの産地を

目指して取り組んでいる。その中で、県内の果樹生産額の4割を担っている長野地域で一步を踏み出すことに誇りを持っていただき、着実に歩み続けていっていただきたい。」との激励の言葉がありました。

その後、第1回目の講座として、りんご栽培の概要と摘花・摘果をテーマに学びました。質問も積極的に出され、受講者の意欲が感じられる講座となりました。(長野市北部担当 南澤)

須高果樹セミナーを開催しました

4月14日、須坂市において「須高果樹セミナー」を開催しました。本セミナーは、須高地域で出荷・販売を目的とした果樹栽培に取り組む方を対象に、JAながのと共催で毎年開催しています。本年の受講者は56名で、全11回の開催を予定しています。第1回講座では、りんご・ぶどうの栽培に関わる基礎知識や農薬の使い方について講義を行いました。

4月24日の第2回講座は、農作業安全と農業機械について、展示された農業機械を前に、メーカー担当者から操作上の注意点の説明が行われました。また、農作業安全に関する講義では、令和8年既に農作業事故が多発している状況を報告し、事故防止を啓発しました。参加者は真剣な様子で説明に耳を傾けており、農作業安全に対する意識の高まりが感じられました。(高山村担当 堀江)

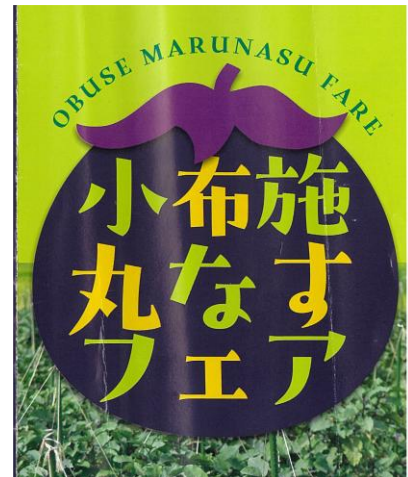


小布施丸なす保存会総会を行いました🍆

5月12日に小布施町役場にて「小布施丸なす保存会総会」を行いました。当保存会は会員（9名）による「信州の伝統野菜」である「小布施丸なす」の知名度上昇のために活動しています。本総会では、令和7年度の報告、令和8年度の計画についてなど話し合いました。

接ぎ木による栽培と自根による栽培についての議論や品質についての議論や、農村生活マイスター上高井支部より「小布施丸なすを栽培させていただけないか」という要望についての検討が行われ、今後の小布施丸なすの普及、品質アップ、生産量増加について話し合われました。

また、今年度も小布施丸なすフェアの開催を予定しており、小布施丸なすの更なる発展が期待されます。（小布施町担当 森）



令和8年度 長野農業農村支援センター普及業務担当者 〈技術経営普及課〉

長野農業農村支援センター

〒380-0836 長野市大字南長野南県町 686-1 (長野合同庁舎2階)

電話 026-233-5151 (代表) FAX 026-235-8393

E-mail nagano-nogyo@pref.nagano.lg.jp

■技術経営普及課

〔主な業務〕農業技術の普及指導、経営支援、担い手の確保・育成など

所長	篠原 亘
企画幹兼 技術経営普及課長	千野

電話 026-234-9536 (直通)



普及業務の担当者は
以下のとおりです

【地域第一チーム】電話 026-234-9515 (直通)

チームリーダー 担当係長 前沢 (長野市総括)	主査 深井 (野菜)	普及指導員 小林 (果樹)	技師 平泉 (信濃町)	技師 松橋 (作物・飯綱町)
主査普及指導員 倉石 (果樹)	主任普及指導員 矢崎 (小川村)	技師 黒柳 (長野市南部)	技師 浜中 (長野市南部)	行政事務員 南澤 (長野市北部)

【地域第二チーム】電話 026-234-9535 (直通)

チームリーダー 担当係長 関谷 (係総括)	普及指導員 岩崎 (畜産)	技師 竹内 (千曲市)
担当係長 藤沢 (花き)	技師 竹ノ内 (坂城町)	普及指導員 飯島 (果樹)

【地域第三チーム】電話 026-234-9535 (直通)

チームリーダー 担当係長 奥出 (係総括)	技師 中沢 (須坂市)	技師 小笠原 (小布施町)
主査普及指導員 川合 (果樹)	技師 堀江 (高山村)	技師 森 (小布施町)

クマ にご注意ください！

農作業中の人身事故が多数発生しています
農作業を行う際は以下の点に注意しましょう！



クマと遭わない！

★ ラジオなど音の出るものを携帯する

- ・音を出して自分の存在をアピールしましょう



★ クマの目撃情報を確認する

- ・市町村からの情報や長野県警公式アプリ「ライポリス」などを確認し、**農地周辺**の目撃情報等を確認しましょう



★ できるだけ単独での農作業は避ける

- ・頻繁に出没する地域では、できる限り1人での農作業は避けるなど、**複数人グループ**で農作業を行いましょう
- ・特に**朝夕の時間帯**は注意しましょう



※ 森林（山）に近い農地のほか、**河畔林沿い**の農地も注意が必要です

イラスト引用元「いらすとや」

クマを寄せ付けない！

★ 生ごみや廃棄残さを適切に処理する

- ・果樹や野菜の収穫残さは**放置せず**、**埋設**するなど**適切に処理**しましょう



★ 収穫物などは鍵付きの倉庫等で保管する

- ・未施錠の倉庫にクマが侵入した例があります
- ・収穫物やクマのエサとなるようなものは、必ず**鍵付きの倉庫等**に保管するようにしましょう
- ・刈払機やチェーンソーの**混合油**や**ガソリン**などの**揮発性の物質**もクマを誘引する恐れがあります



イラスト引用元「いらすとや」

クマの生態と特徴

★本来は臆病な動物

- ・人に気が付くと自分から逃げる事がほとんどです
- ・被害の多くは、人とクマがお互いに気づかないまま接近し、不意に出会ってしまうことで発生しています
- ・また、子グマの近くには母グマがいる可能性が高いので近づくと危険です

★活動時間や行動の特徴

- ・夜や朝夕の時間に活動することが多いです
- ・クマには「なわばり」はなく、広範囲を移動し”食べ物“を探しています

★クマの嗅覚はとても鋭い

- ・犬と同等の嗅覚を持っているため、遠くの食べ物を見つけることができます

クマの農業被害とその対策

★クマによる農業被害の痕跡

- ・クマ対策の基本は「人の食べ物の味を覚えさせない」ことです
- ・クマの痕跡を発見した場合は、速やかな対策が重要です



クマの糞の例



クマによるりんごの食痕

★農業被害を防ぐには

- ・電気柵を設置し、侵入を防止しましょう
- ・クマを引き寄せもの（廃棄農作物等）を適切に片付けましょう
- ・林縁部のヤブなど、見通しの悪い箇所の刈り払いを行い、クマの出没しにくい環境整備を行いましょう
- ・対策に係る補助事業はお住まいの市町村へお問合せください



電気柵の設置例



「農作業中のクマ注意」
県農政部ホームページ

【令和8年3月作成】

農業被害対策に関するご相談はお住まいの市町村役場
又は、県農業農村支援センターまでお問合せください

長野県農政部

担当課：農業技術課環境農業係

電話：026-232-0111（代表）



「クマの人身被害を防ぐには」
県林務部ホームページ

<うら>